

様式1 20 内閣官房

管理コード	具体的事業を実現するために必要な措置(事項名)	該当法令等	制度の現状	反映の分類	概算要求への反映状況	予算等の措置の名称(項)(目)(目細)	概算要求額(単位:千円)	提案事項管理番号	具体的事業を実現するために必要な措置(事項名)	措置の具体的内容	具体的事業の実施内容	提案理由	都道府県名	提案主体名	制度の所管・関係官庁
2010010	現代ニーズの発信地「参加型子育て支援システム」導入計画	都市再生特別措置法第4条第5号	「都市再生プロジェクト」は、国家的視点から見た都市の課題に国が総力を挙げて取り組むための行動計画であり、これまでに21のプロジェクトを決定しているが、子育て支援に関連するプロジェクトは決定していない。	E	「大学地域連携まちづくりネットワーク」は、都市再生本部決定「大学と地域の連携協働による都市再生の推進」の趣旨に基づき、8地域の地方公共団体と大学が発起人となり、大学と地域の連携によるまちづくりの取組をより効果的に進めるとともに、こうした取組を全国に広げていくために設立した情報・意見交換のネットワークである。都市再生本部事務局では、こうした取組を後押しするために、参加者間でのメーリングリストによる情報・意見交換の場を提供している。	内閣官房の所掌事務は、政策の企画及び立案並びに総合調整に関することであり、「都市再生プロジェクト」を推進するための個別具体的な事務は各府省が実施している。	-	1163010	現代ニーズの発信地「参加型子育て支援システム」導入計画	市民型公共事業を目指す地域コミュニティ再生のための支援として、コミュニティ再生事業の子育て支援関連のパッケージ化。 今回提案のシステムの実行部隊となる人的資源の確保及び育成のための支援として、子育て世代の雇用促進、開拓および若年者のトライアル雇用の促進のパッケージ化。 子育て支援情報を共有し、円滑なIT環境を整備するための支援として、子育て支援に特化したIT関連事業のパッケージ化。	現実問題を抱えている現代ママ/パパのニーズを知り、実感できる子育て支援活動ができる仕組みづくり【参加型子育て支援システム】を提案する。情報発信/収集の場として、時間・場所を問わずに誰もが参加、提案できるHP「子育てコミュニティサイト」を立ち上げる。企業との協力を得てパパの参加を積極的に呼びかけ、サイトを情報源に現場をつなぐ「先輩ママ事業」と、現行プランや現代の家族問題をわかりやすく説明する教材の発信や、出張説明会を設ける「現代子育て事情広報活動」を行う。これらの総括としてワークショップを設け、行政とともに実現化を検討する。全体の実行部隊は、事務局をもとに、学生や主婦を起用する。	本来、各家庭が実感できる子育て支援とは、多様な家族形態や地域性を含めた実態に即したものが望ましい。少子化問題において効果的な対策を施すためにも、現段階で世代や性別によって異なっている論点を現代家庭のニーズに合わせて整理する必要がある。今回提案のシステムでは、問題を抱えている世代が直接参加することにより、問題や望む支援を数値で捉えることを可能とする。このシステムを公開することにより、学校や企業を含む地域社会がニーズに答える社会的環境をイメージし易い効果をもたらす。行政が参画することにより、ニーズにあった支援の実施へと結びつく循環ができる。生活に密着して共有しやすい課題である「子育て支援」をきっかけに、「参加提案 数値化 実施」の好循環を導くことができれば、骨太な地域コミュニティの基盤が構築できる。	山梨県	TwosTep	総務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 内閣官房